

衆議院議員 玉城デニー FAXニュース (11/24号)



◆ 「馬淵澄夫元沖縄担当大臣と語る会」開催！

11月13日（日）恩納村コミュニティーセンターにおいて『沖縄の将来を馬淵澄夫元沖縄担当大臣と語る会』を開催いたしました。馬淵澄夫衆議院議員は、平成23年1月まで国土交通大臣・沖縄及び北方対策担当大臣として沖縄問題にも深く関わっていました。冒頭挨拶で馬淵先生は『基地問題・沖縄振興等、沖縄の抱えている問題に対し、今後も玉城先生と一緒に取り組んでいきたい。また、県民の皆さんの意見を聞いて、国政へ反映していきたい』とおっしゃっていただきました。

参加していただいた方からは、TPP問題や、沖縄の観光振興策、基地問題、尖閣諸島問題などさまざまな分野からの意見が飛び交い、馬淵先生・玉城デニーから、それぞれに対するしっかりとした回答をいただきました。その中でも基地問題に関して馬淵先生からは『自らのこととしてどう解決するか真摯に取り組んでいかないといけない。その為に今後は一議員として沖縄県民の運動に参加しお手伝いしていきたい』と述べました。

今後の玉城デニー・馬淵先生の活躍が期待できます。

『沖縄県選出・出身国会議員有志による緊急声明！』



<緊急記者会見>

玉城デニーは沖縄県選出・出身国会議員有志と共に、11月17日に「米軍普天間飛行場の辺野古移設に係わる環境影響評価書の提出断念、一切の手続き中止を求める緊急声明」発表の記者会見を国会内で行いました。このことは去る11月12日の日米首脳会談の席上で、野田首相からオバマ大統領に対し、上記評価書を年内にも提出する旨約束した、と報じられたことに対するものです。言うまでもなく、仲井眞県知事はじめ県議会や全ての市町村長と議会は一日も早い普天間飛行場の危険性除去を「国外・県外」移設によって実現することであり、このことは玉城デニーも先の総選挙で県民の皆さまとお約束し、これまで終始一貫変わることなく主張して参りました。辺野古移設ありき、オスプレイ配備ありきのこの動きは、沖縄民意に明らかに逆行し、県民総意を無視することであり、断じて認めることはできません。今後も継続して強く訴えていきたいと思っております。なお、11月22日には緊急声明賛同者全員で総理大臣官邸に斎藤勁官房副長官を訪ね、申し入れを行いました。



<恩納村コミュニティーセンター>



<参加者の質問に答える玉城>

名嘉真宜徳うるま市議会議員 議会報告会

お知らせ

日時：2011年11月27日（日）午後6時30分より 会費：1,000円

場所：うるま市健康福祉センター（うるみん）にて

『理想郷うるま市』建設のため「うるま市はひとつ宣言」を掲げ2期目に取り組んでおります。是非、ご参加くださいますよう宜しくお願いします。

配信停止やご意見などございましたら、ご連絡をお願いいたします。

平成23年11月24日発行：民主党沖縄県第3区総支部（玉城デニー事務所）

TEL.098-929-2416 FAX.098-929-2005